

「Coinhive設置サイト摘発」

- Coinhiveはサイトの閲覧者にマイニングを行わせ、マイニングの利益の7割をサイトの運営者が受け取ることができるサービスである。
- しかし、サイト運営者が不正指令電磁的記録（ウイルス）供用・保管などの容疑で相次いで摘発された

事件の問題点

裁判の合理性

- 「Coinhive」設置の「反意図性」と「不正性」
- 不正指令電磁的記録（ウイルス）に該当するかどうか（ウイルス罪の曖昧さ）

教訓と残された課題

- 新しい時代を対応するために法律への検討が必要→ウイルス罪の明確化
- 技術公開への萎縮効果
- 個人ユーザーのプライバシーや利益